

川島町下水道事業経営戦略

今回説明範囲

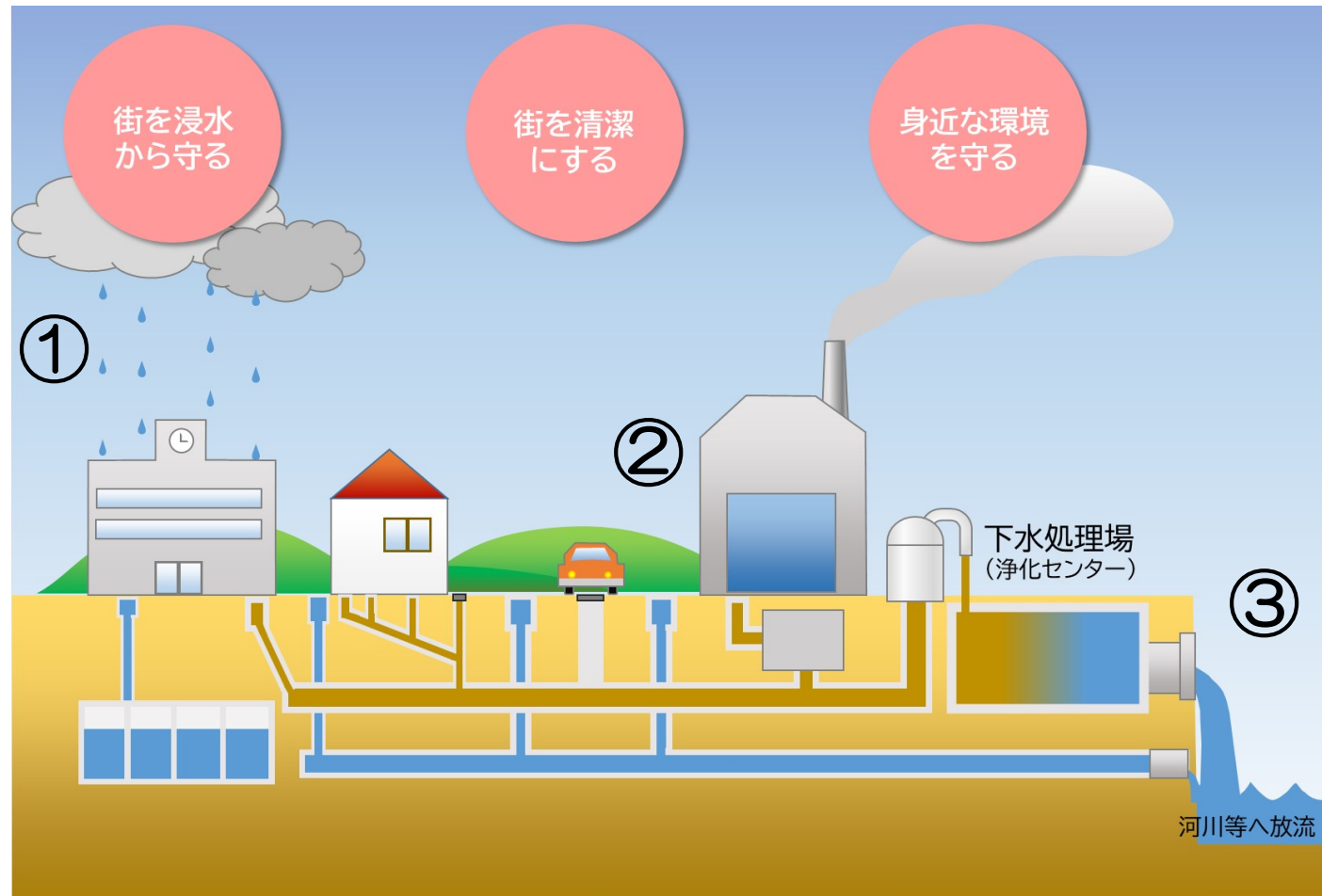
1. 下水道事業経営戦略について
2. 下水道事業の現状
3. 事業を取り巻く経営環境
4. 経営基本方針

次回説明範囲(予定)

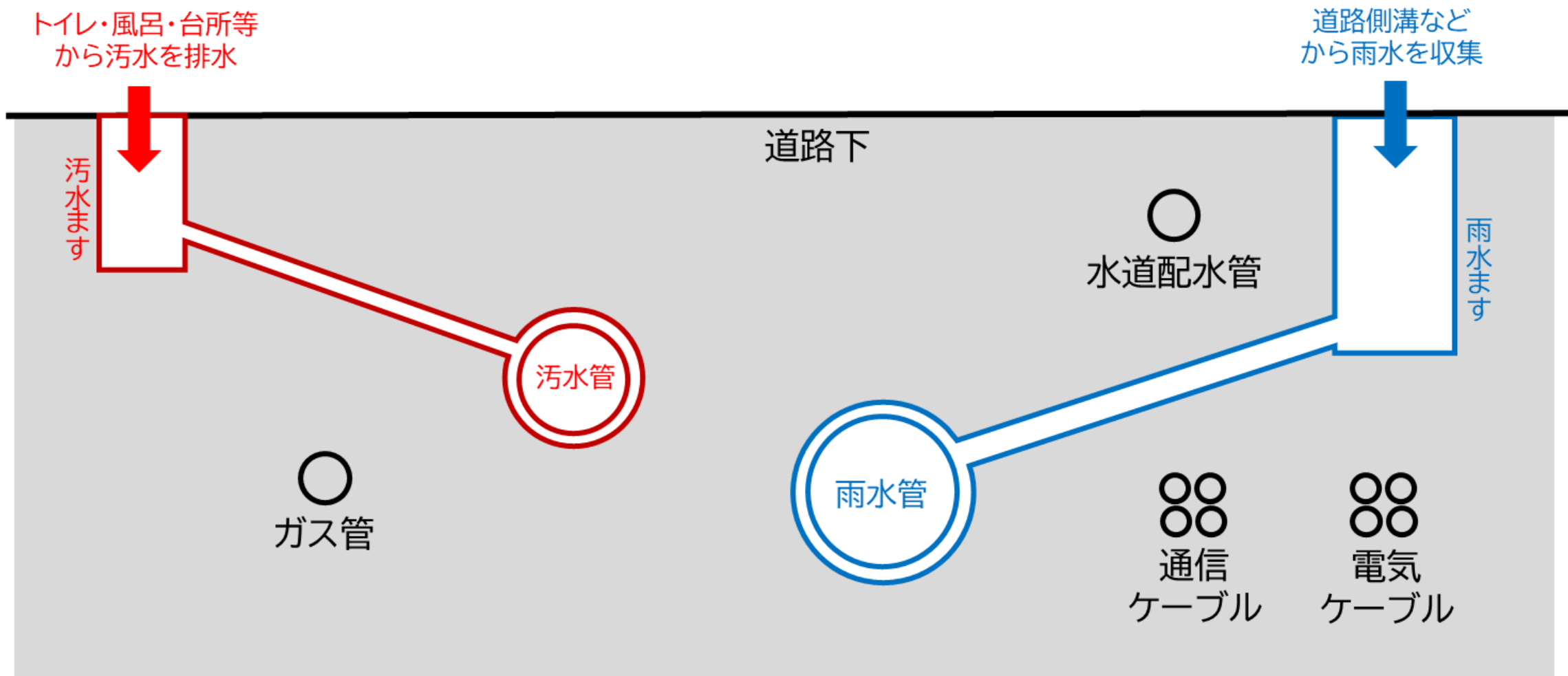
5. 投資と財源に関する取組み
6. 投資・財政計画
7. 経営戦略の事後検証等

1. 下水道事業経営戦略について

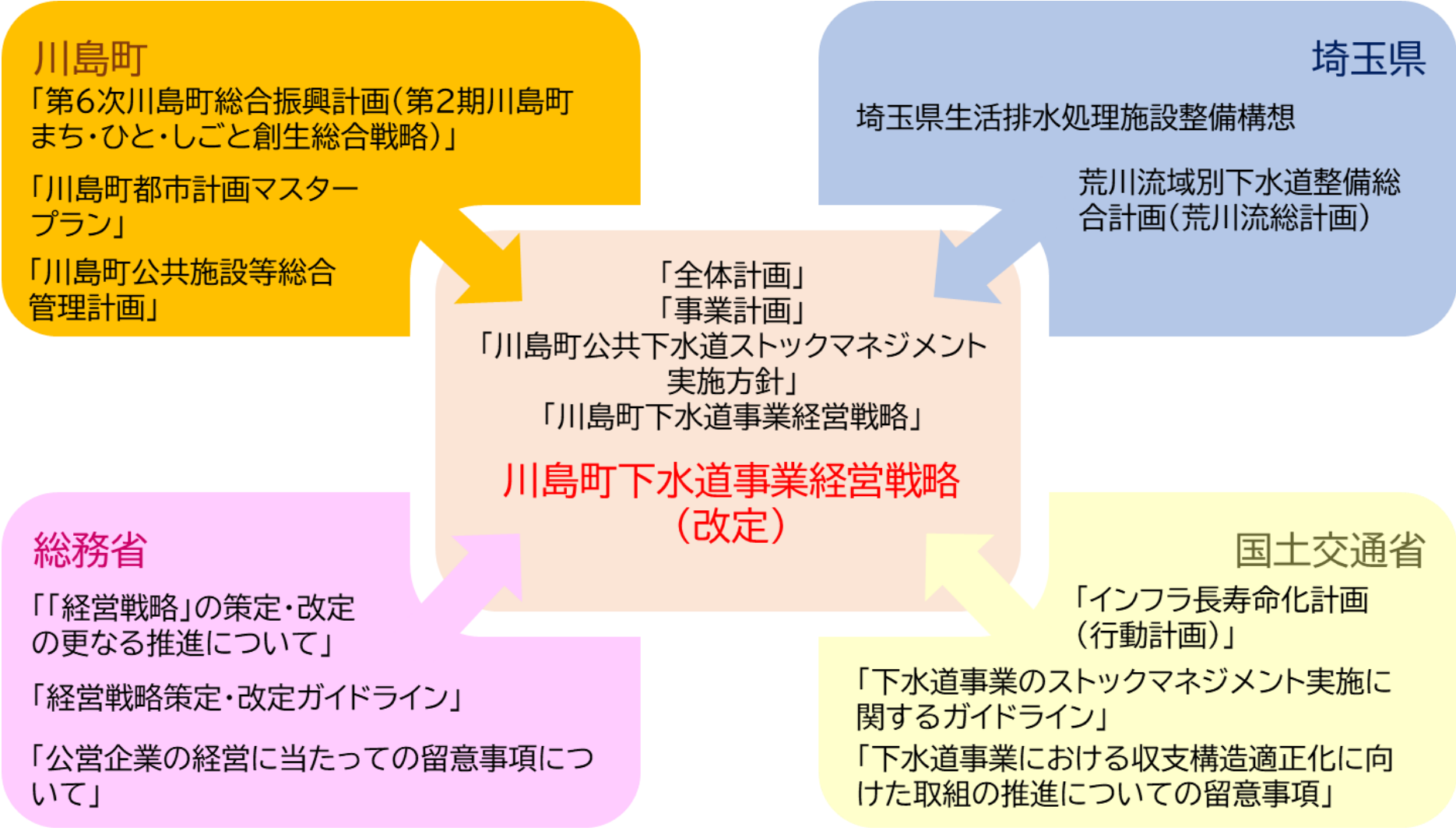
- ① **雨水の排除**による浸水被害の防止
- ② **汚水の排除**による生活環境の改善
- ③ **公共用水域の水質保全**による自然環境の保全



1.2 分流式下水道の仕組み



事由	策定年度	改定理由	計画期間
策定	平成30年度	—	平成31年度 ~ 平成40年度
修正	令和2年度	令和2年度に官庁会計方式から企業会計方式に会計移行したことに伴い、将来財政計画の修正等を実施	令和3年度 ~ 令和12年度
改定	令和5年度	当初計画から5年、企業会計方式移行から3年が経過したことから振り返りを見直しを実施	



計画期間：令和 6 ～ 15 年度(10年間)

令和6年度
2024

令和7年度
2024

令和8年度
2024

令和9年度
2024

令和10年度
2024

令和11年度
2024

令和12年度
2024

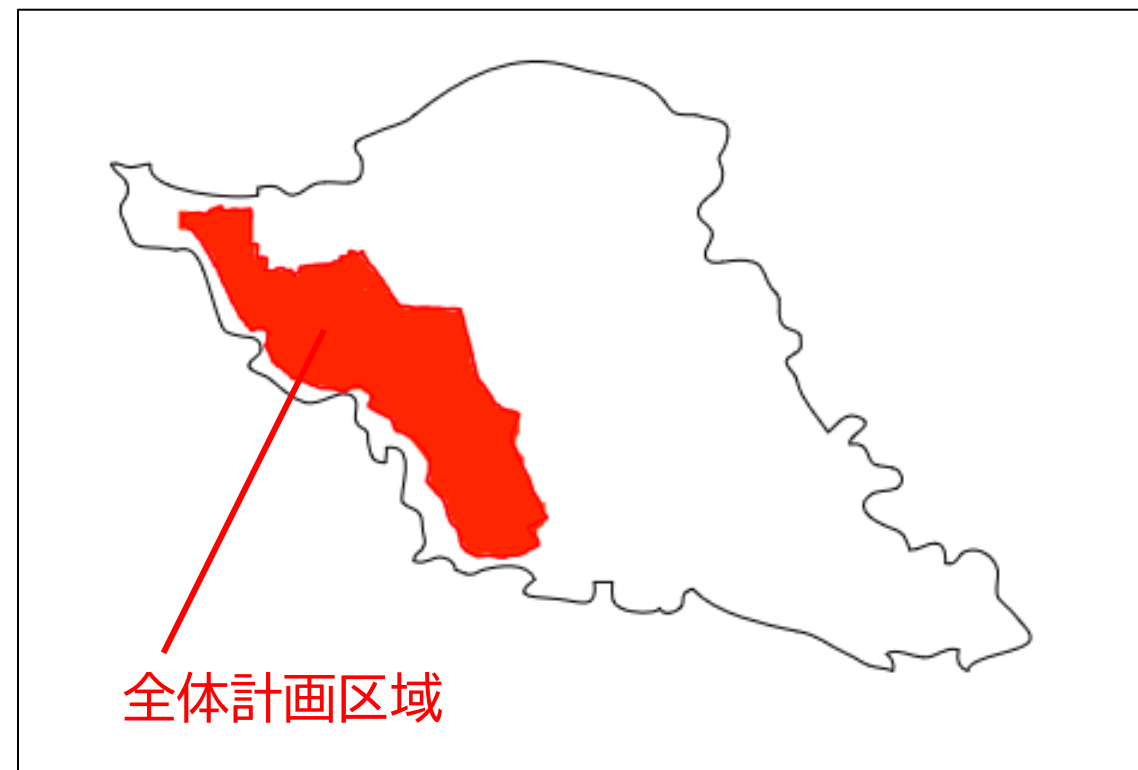
令和13年度
2024

令和14年度
2024

令和15年度
2024

2. 下水道事業の現状

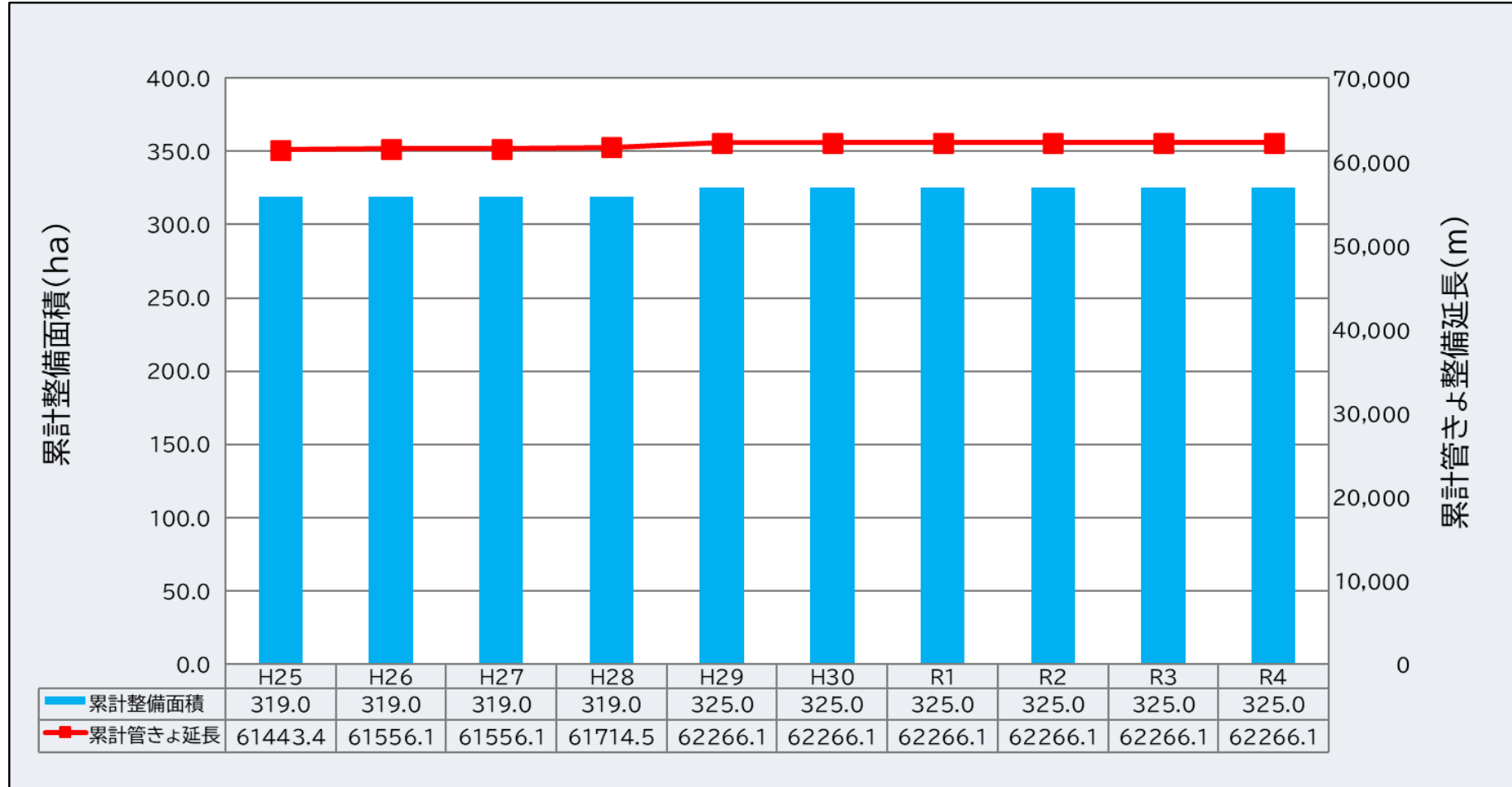
事業概要		
基本事項	建設事業開始年月日	昭和51年3月16日
	供用開始年月日	昭和63年3月28日
	地方公営企業法適用年月日	令和2年4月1日
	排除方式	分流式
面積	行政区域区域	4,163 (ha)
	全体計画区域	555.2 (ha)
	事業計画区域	325.3 (ha)
	整備済み区域	325.3 (ha)
	整備率	58.6 (%)
人口	行政区域内人口	19,112 (人)
	全体計画人口	10,900 (人)
	事業計画人口	10,900 (人)
	処理区域内人口	9,937 (人)
	水洗化人口	9,737 (人)
	水洗化率	98.0 (%)



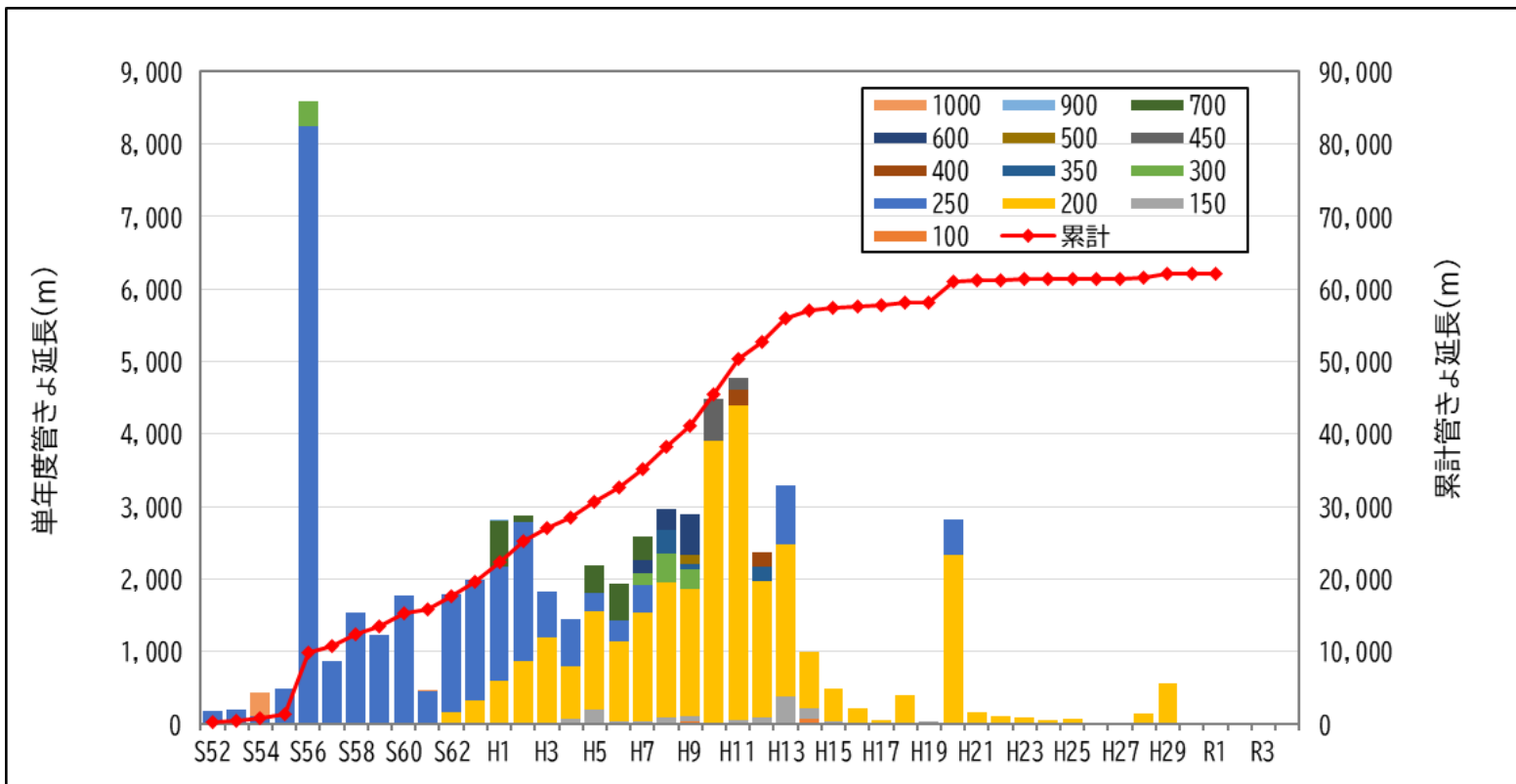
荒川右岸流域下水道 構成13市町



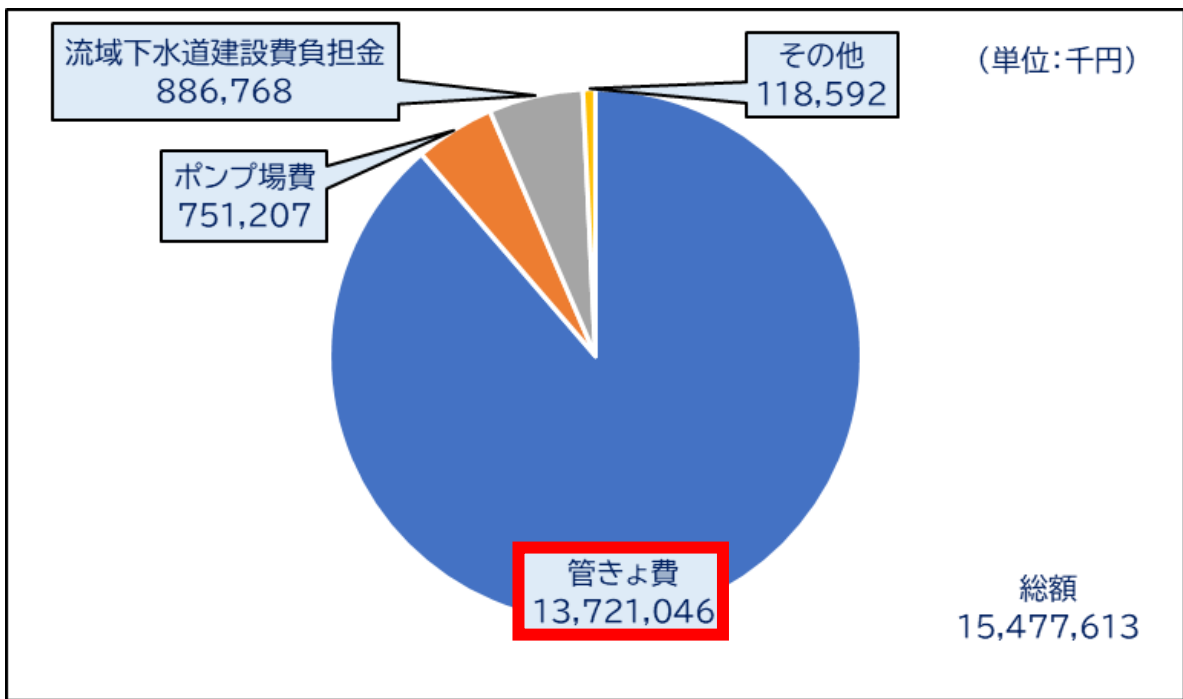
新河岸川水循環センター



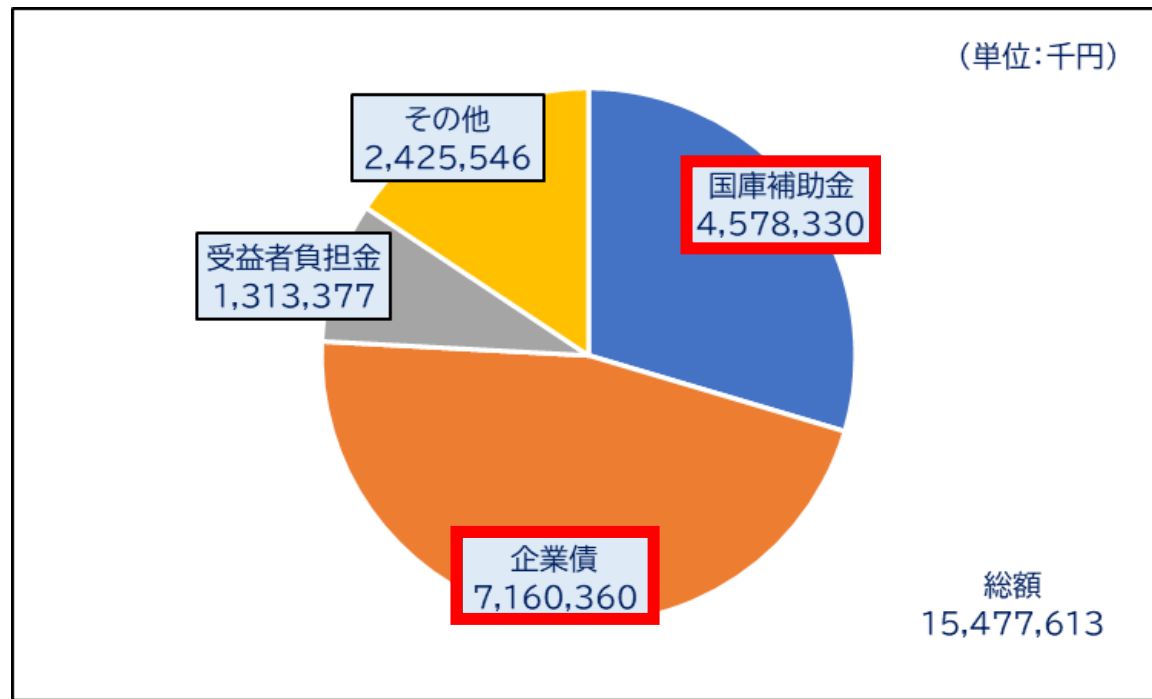
2.4 管きよの内訳



口径 (mm)	ヒューム管 (m)	硬質塩化ビニル管 (m)	小計 (m)	割合 (%)
100	0	63.29	63.29	0.1%
150	38.27	1,216.38	1,254.65	2.0%
200	352.16	28,582	28,933.73	46.5%
250	24,348.89	1,284.65	25,633.54	41.2%
300	1,164.07	0	1,164.07	1.9%
350	591.05	0	591.05	0.9%
400	416.66	0	416.66	0.7%
450	738.29	0	738.29	1.2%
500	125.07	0	125.07	0.2%
600	1,063.4	0	1,063.4	1.7%
700	1,911.03	0	1,911.03	3.1%
900	12.26	0	12.26	0.0%
1000	359.05	0	359.05	0.6%
合計	31,120.2	31,145.89	62,266.09	100.0%

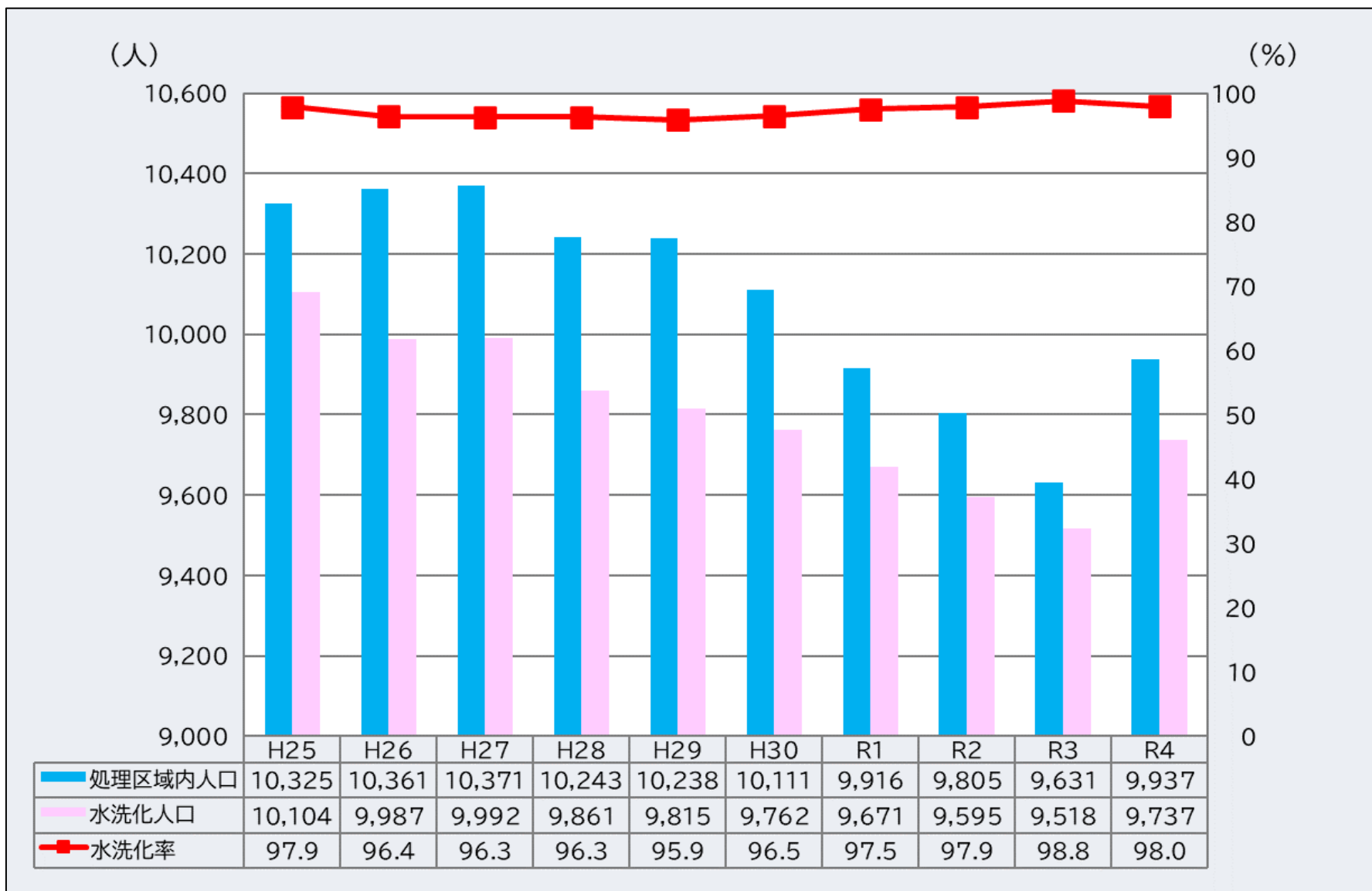


累計事業費と内訳



事業費の財源内訳

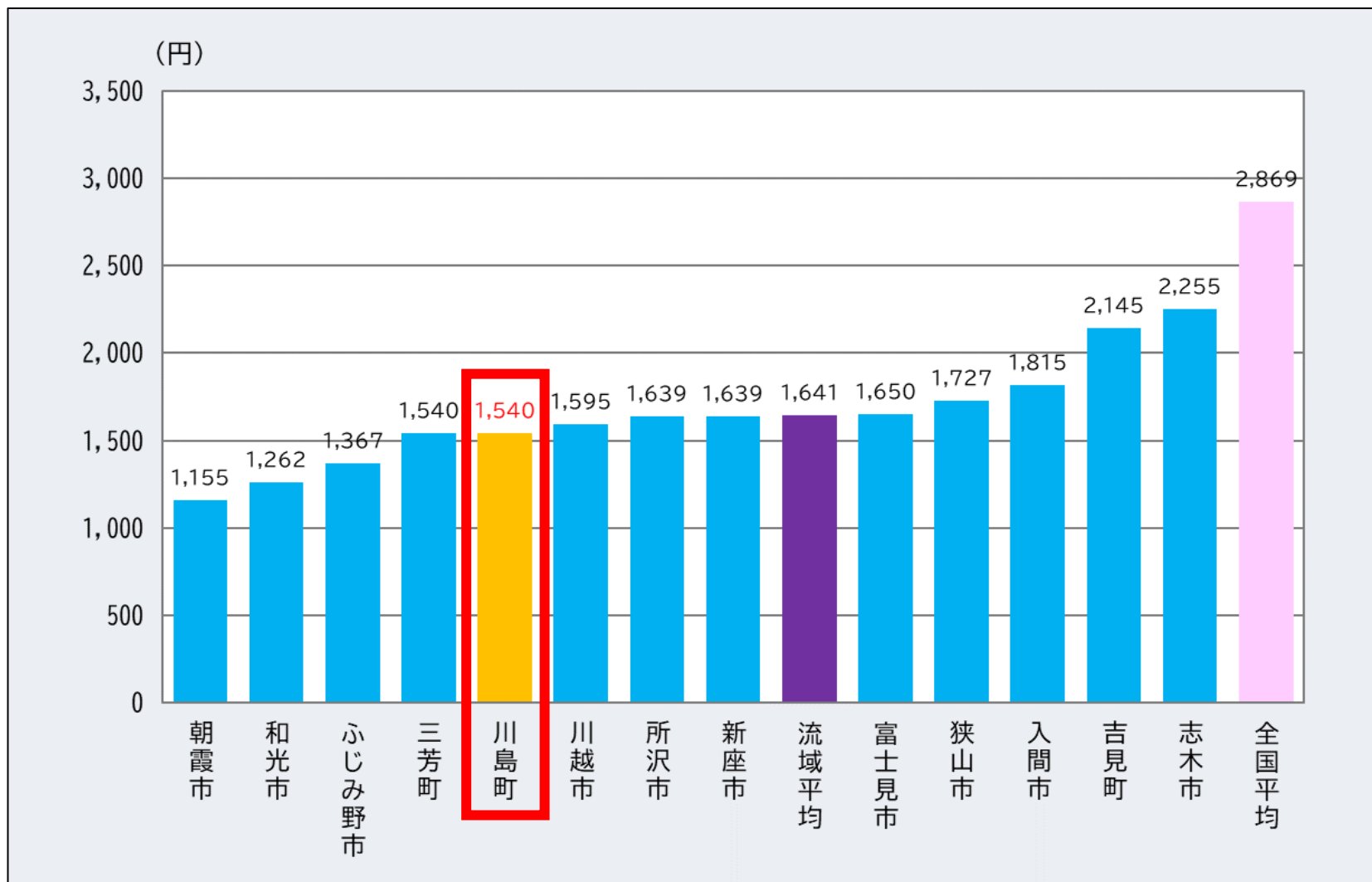
2.6 水洗化率等の推移



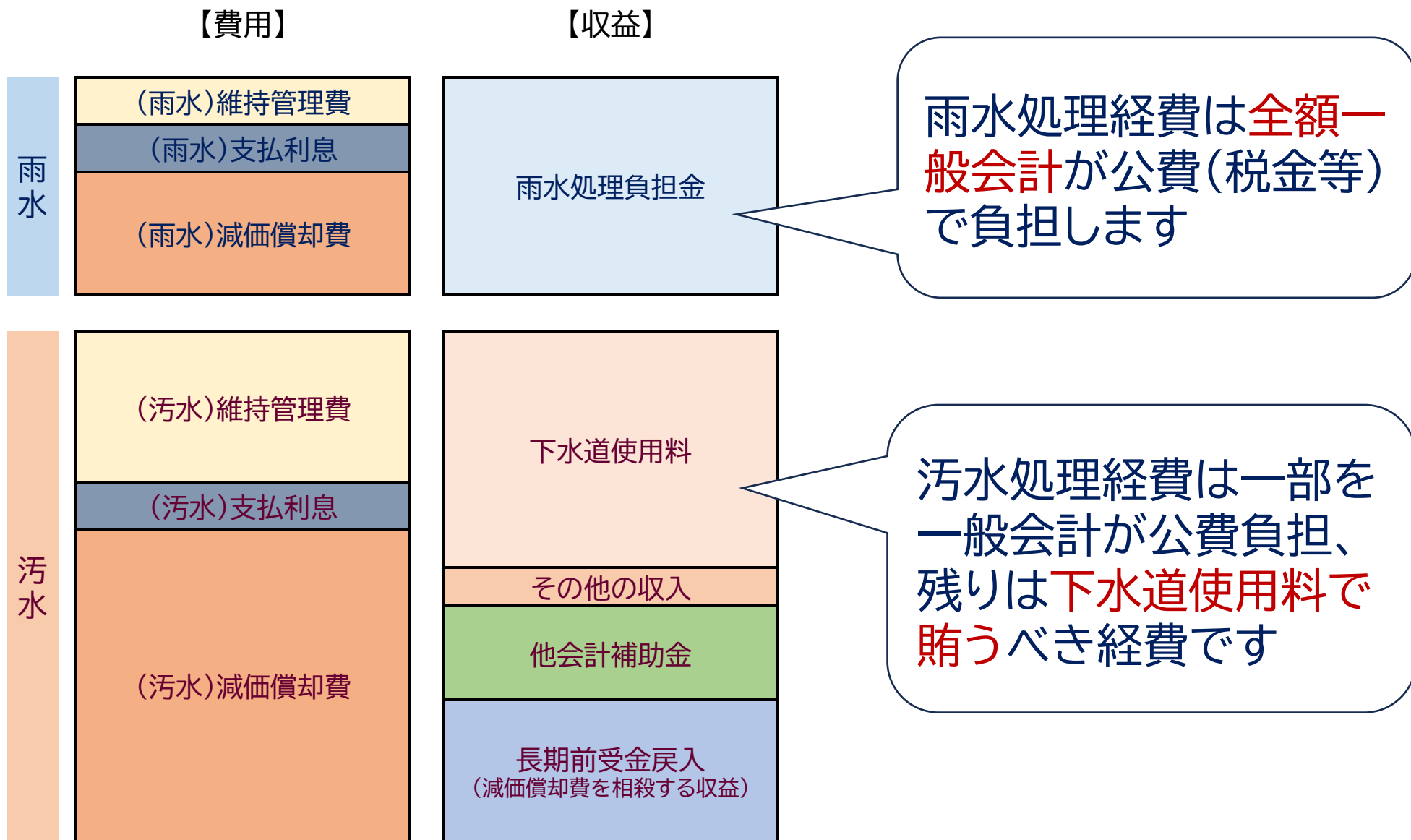
基本使用料 (1カ月につき)	10立法メートルまで	700円
	10立方メートルを超え20立方メートルまで	70円
超過使用料 (1立方メートルにつき)	20立方メートルを超え30立方メートルまで	80円
	30立方メートルを超え50立方メートルまで	90円
	50立方メートルを超え100立方メートルまで	100円
	100立方メートルを超え200立方メートルまで	110円
	200立方メートルを超え500立方メートルまで	130円
	500立方メートルを超える分	150円

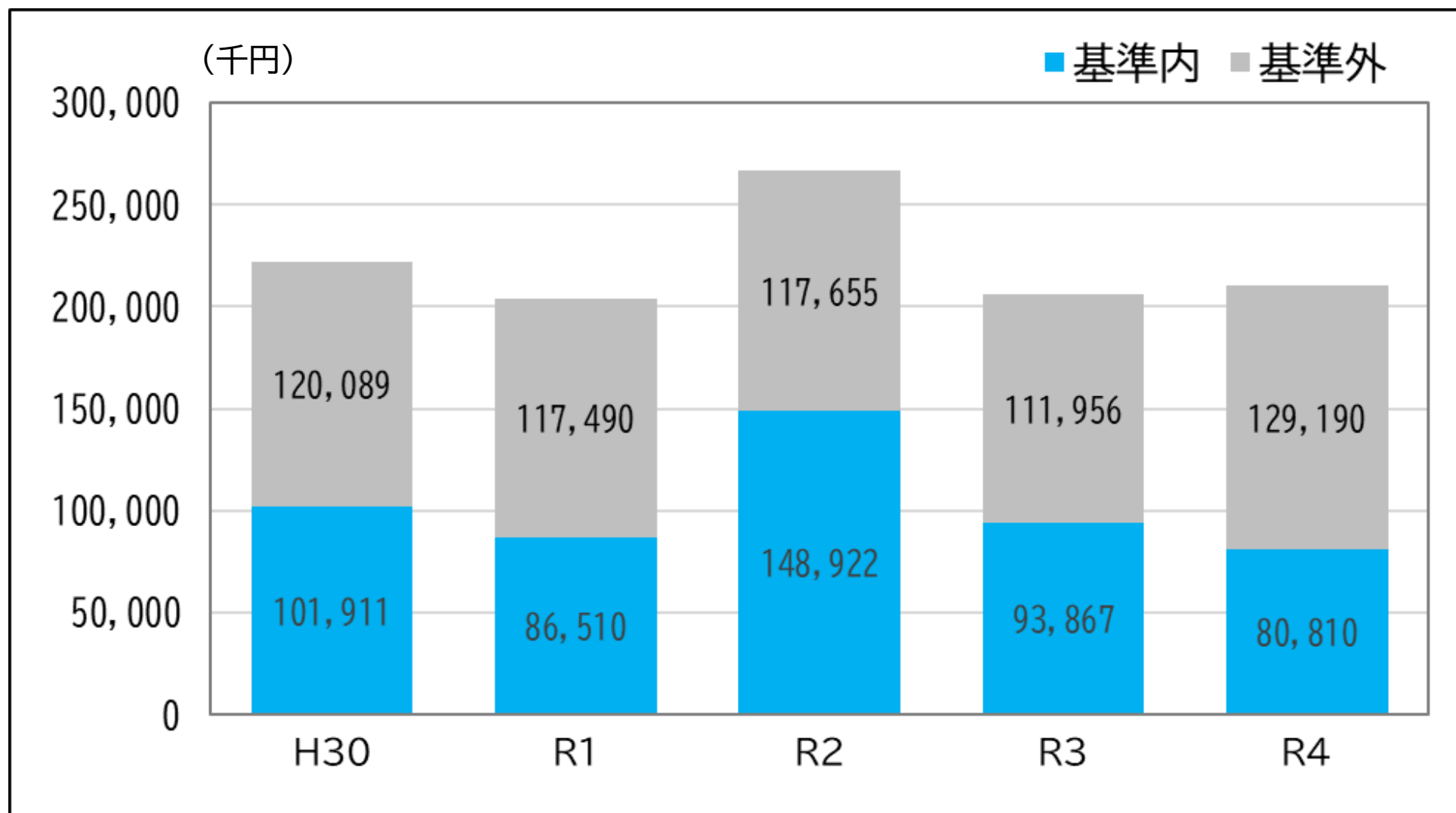
(注)使用料は、上記の表により算出した金額に消費税が加算されます。

2.8 下水道使用料の比較

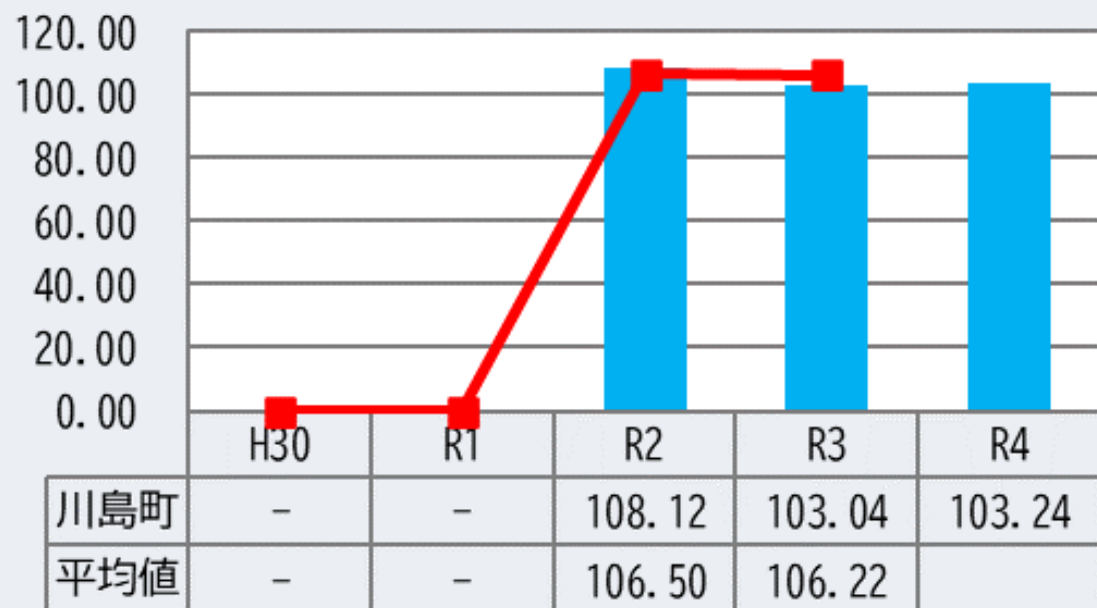


排水量：家庭用20m³/月(税込)における流域内使用料比較

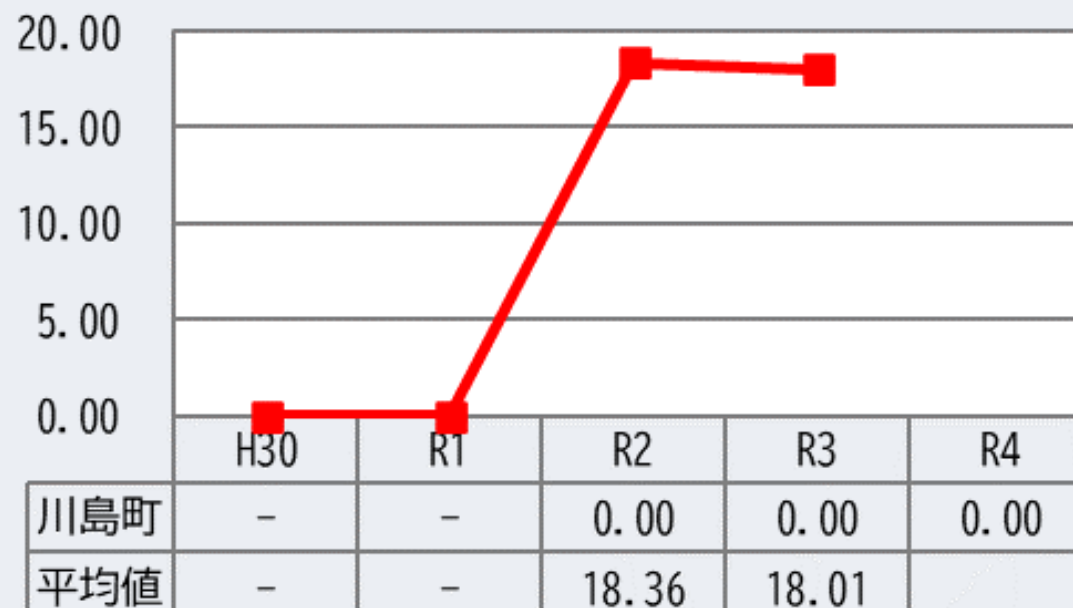




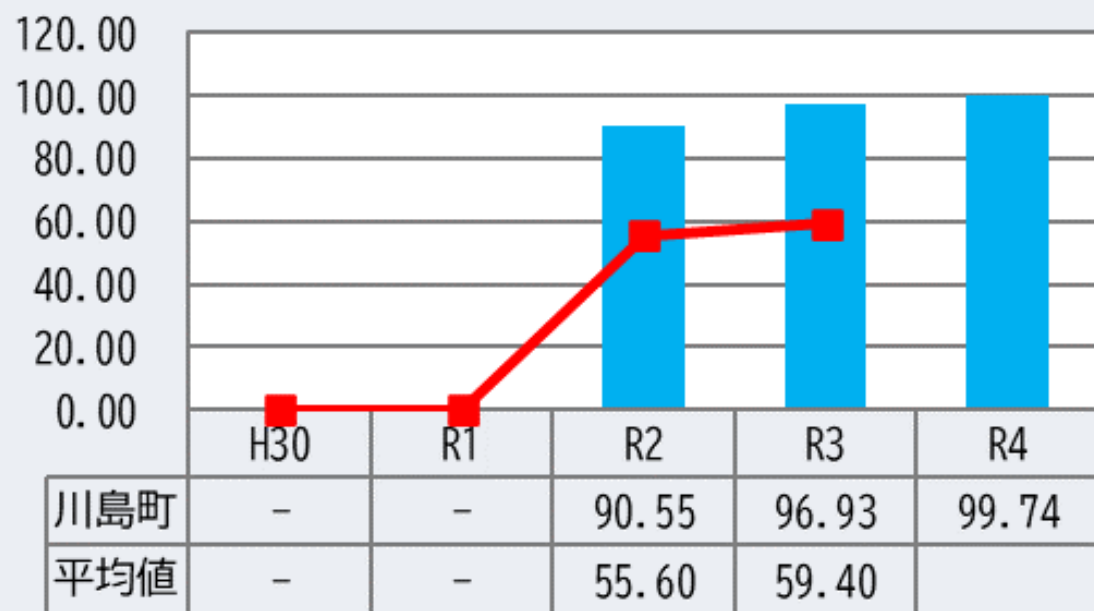
経常収支比率 (%)



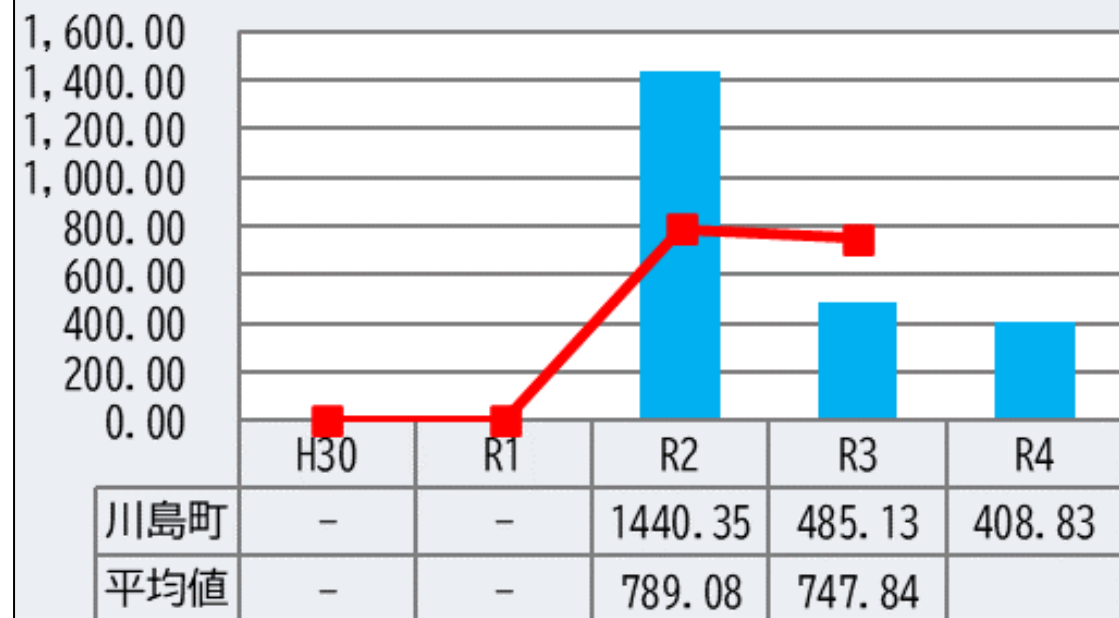
累積欠損金比率 (%)

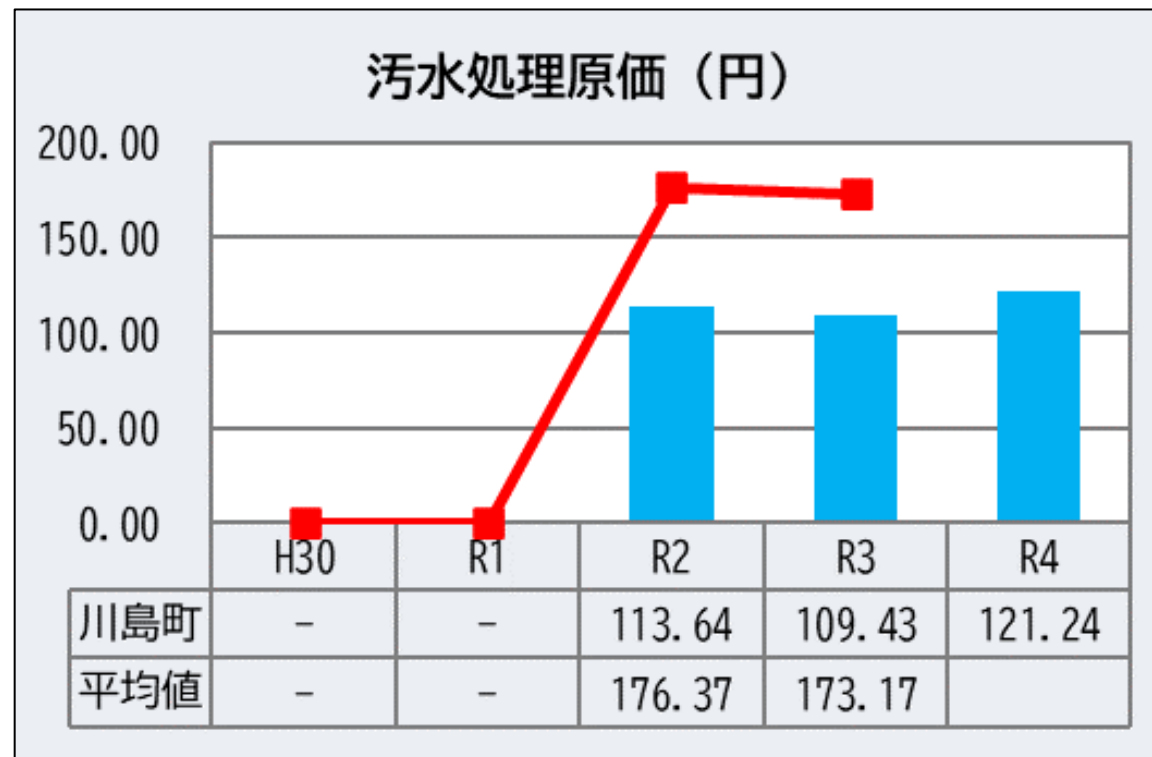
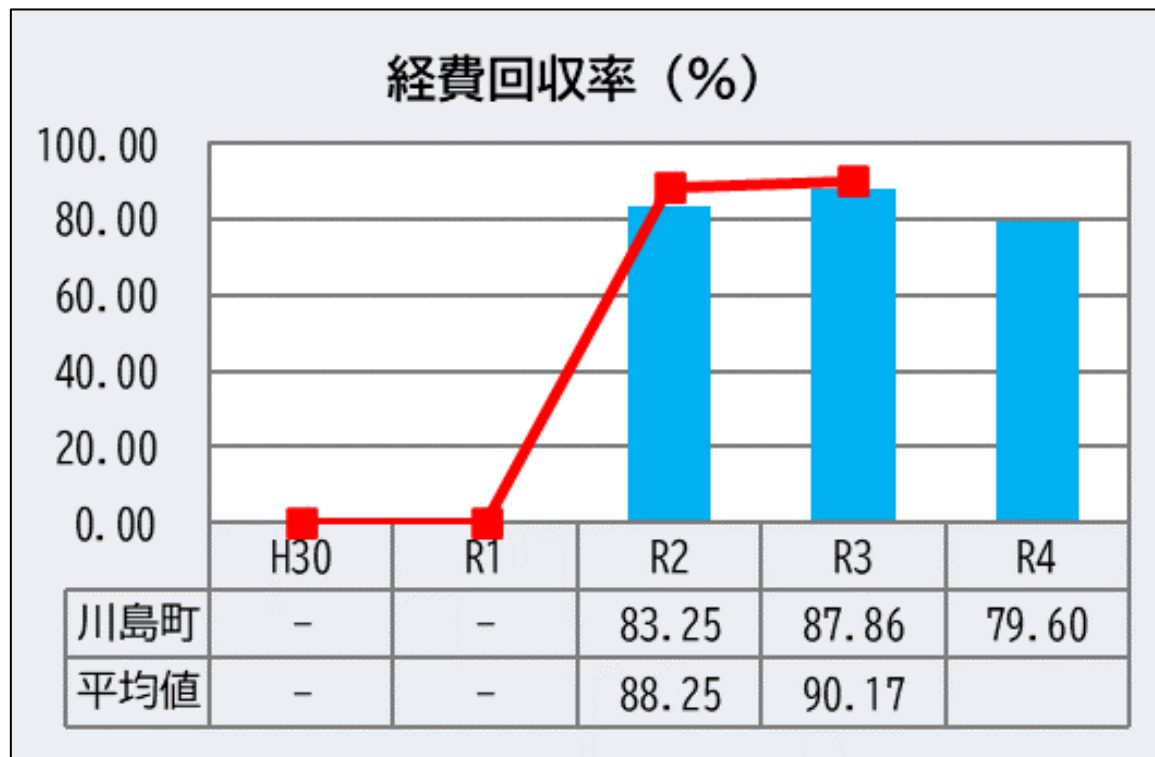


流動比率 (%)



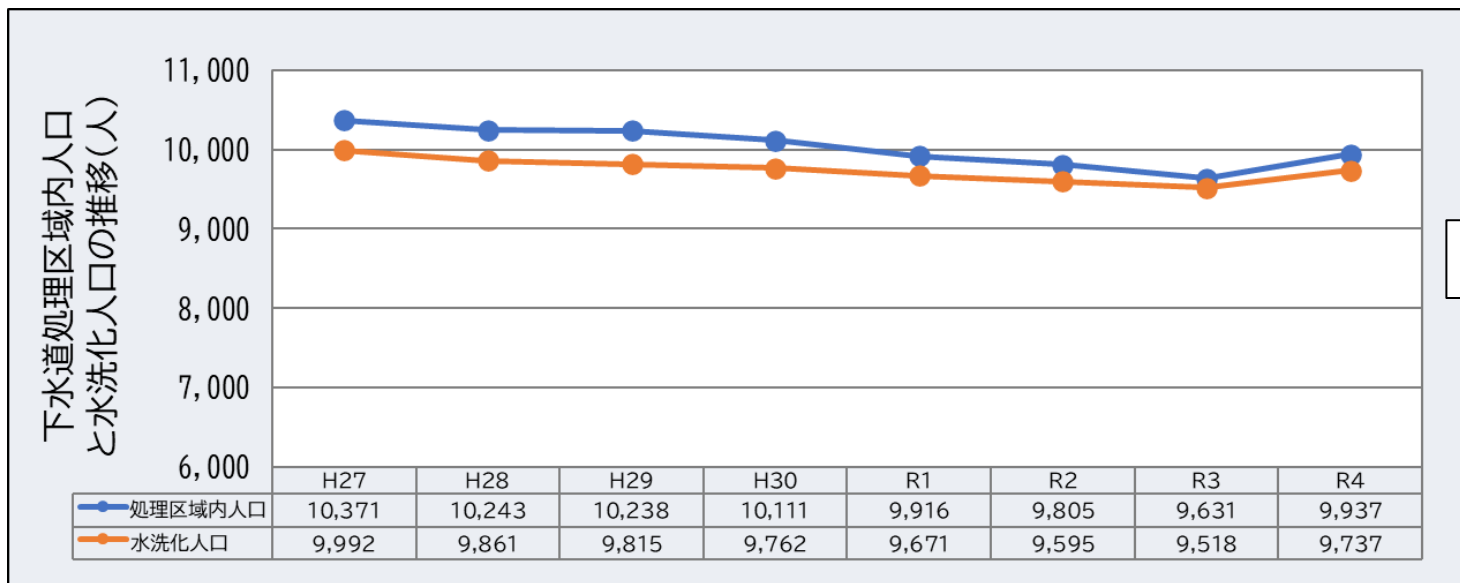
企業債残高対事業規模比率 (%)



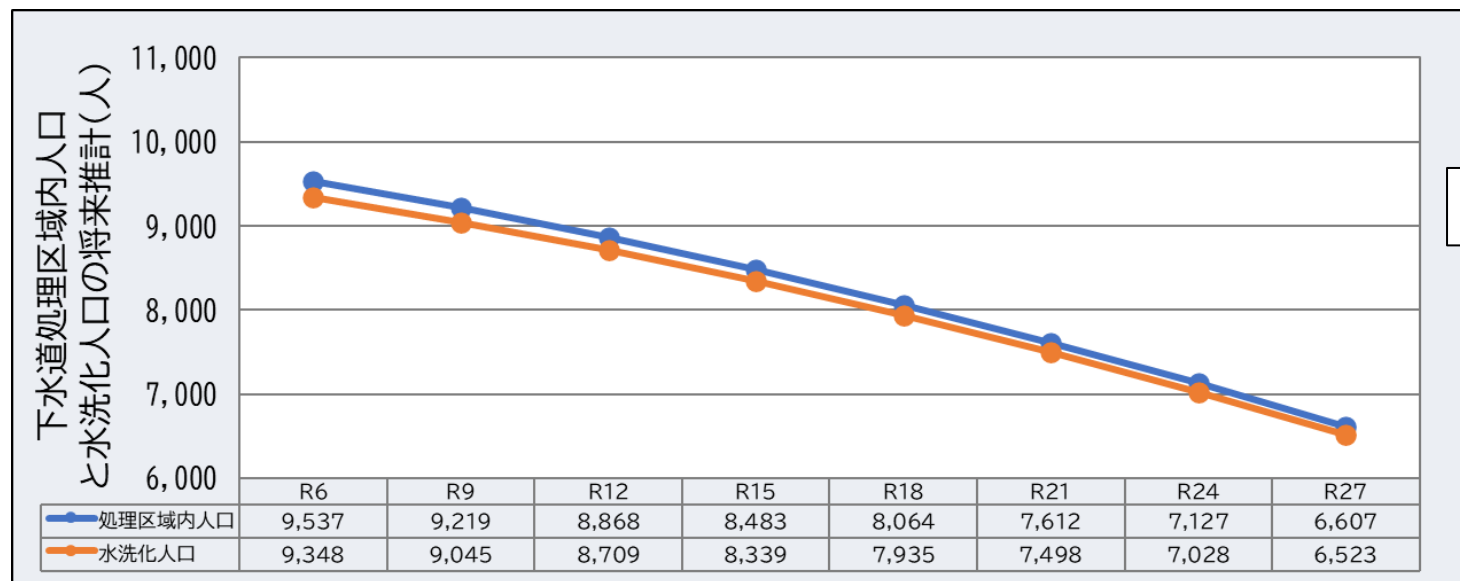


3. 事業を取り巻く経営環境

3.1 処理区域内人口と水洗化人口の推移

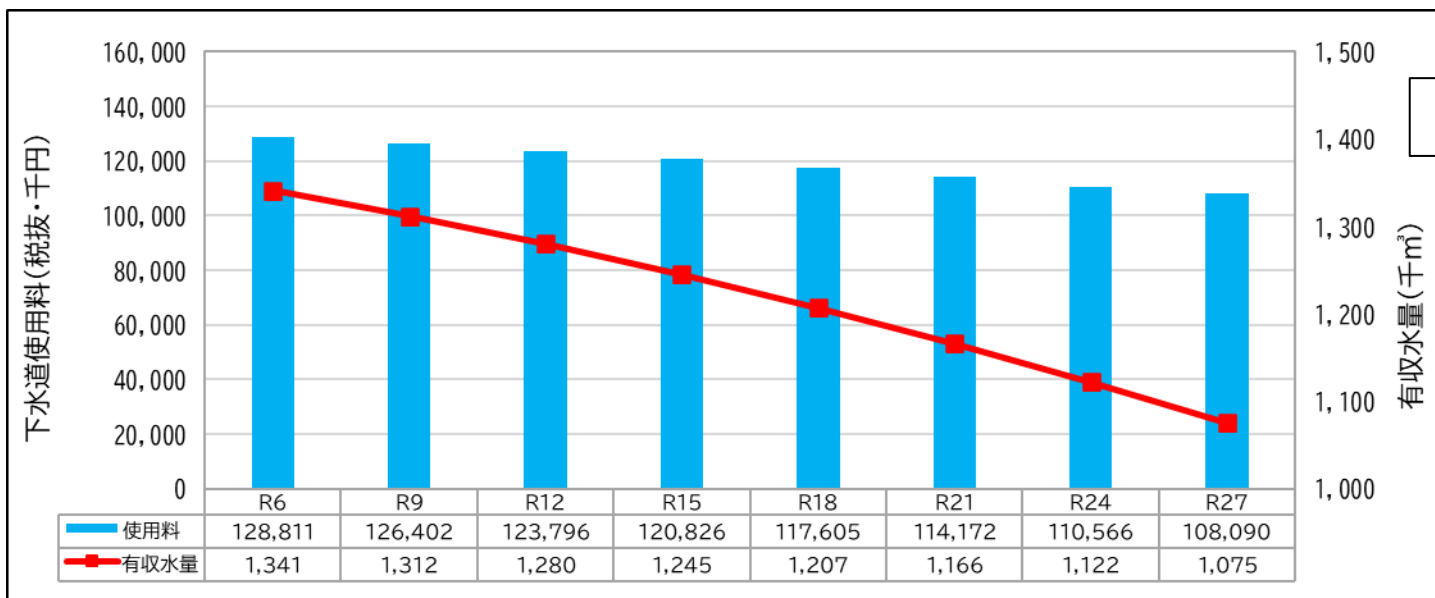
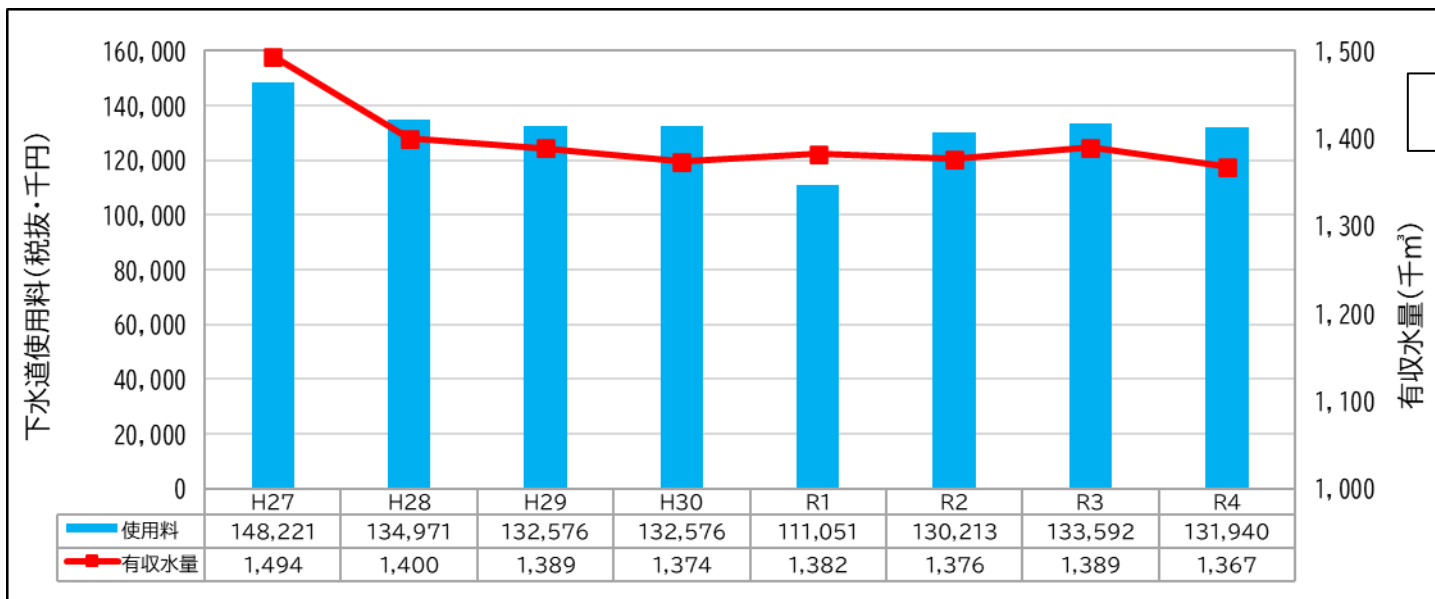


過去実績(8年)

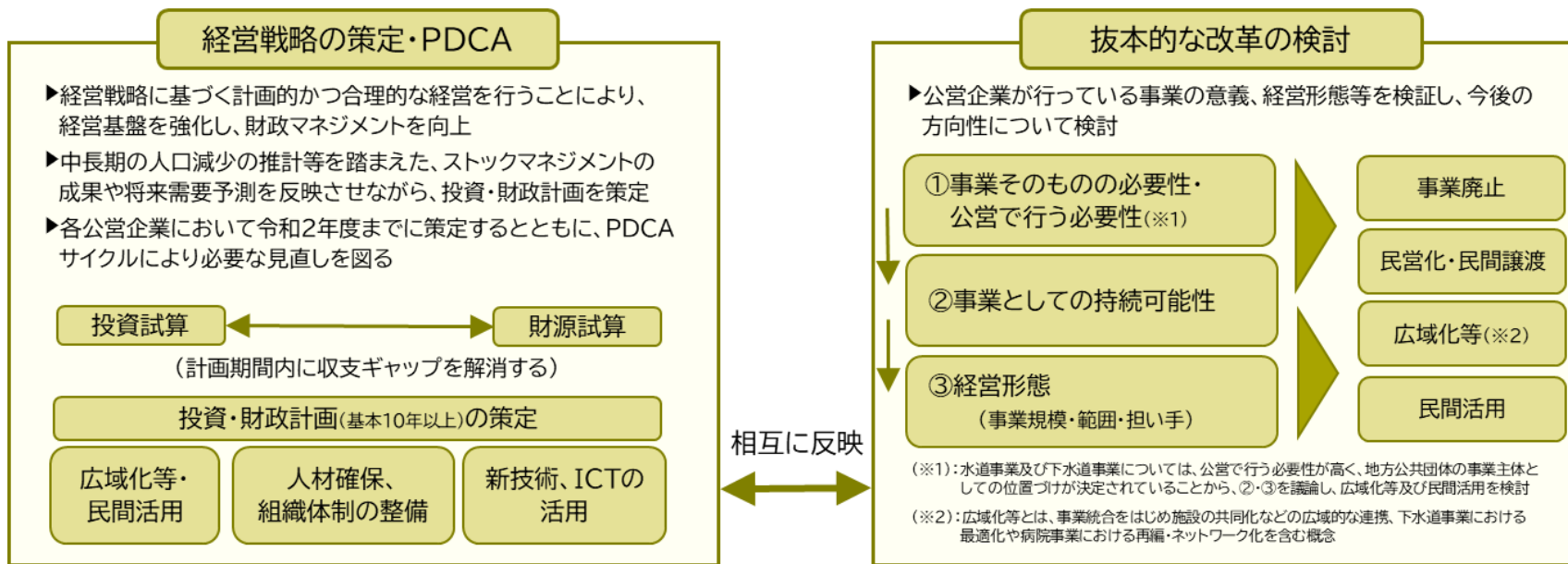


将来予測(22年)

3.2 下水道使用料収入の推移



公営企業における更なる経営改革の推進

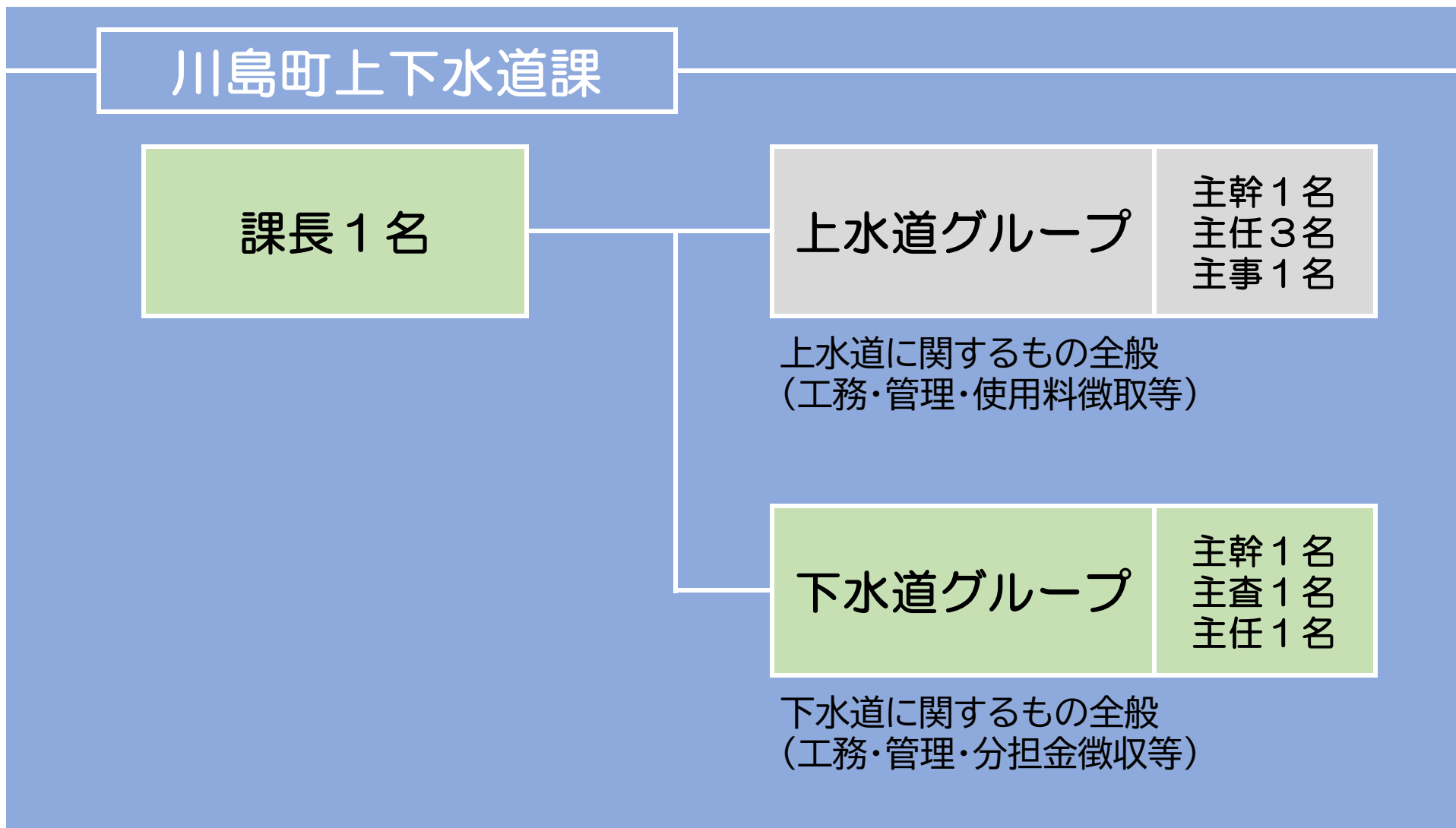


公営企業の「見える化」

- ▶ 複式簿記による経理を行うことで、経営・資産の状況の「見える化」を推進
 - ⇒ 将来にわたり持続可能なストックマネジメントの推進や、適切な原価計算に基づく料金水準の設定が可能
 - ⇒ 広域化等や民間活用といった抜本的な改革の取組にも寄与
- ▶ 経営指標の経年分析や他の地方公共団体との比較を通じて、経営の現状及び課題を分析

公営企業会計の適用拡大

経営比較分析表の作成・公表



4. 經營基本方針

方針(1)

下水道普及の継続

長期にわたって普及に努めてきた下水道の整備事業は概成していますが、開発や建築物の新築に伴い新たに発生するニーズにも引き続き対応していきます。

また、整備が済んだ地区でも下水道未接続の世帯も一部残っており、引き続き下水道普及活動を継続していきます。

方針(2) | スtockマネジメントの推進

ストックマネジメントとは、長期的な視点で下水道施設(ストック)全体の今後の老朽化の進展状況を考慮した優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕(または改築・更新)を実施し、ライフサイクルコストの最小化を図るなど施設全体を対象とした施設管理の最適化を目的とした施策です。

本町下水道事業では、令和4年度に「川島町公共下水道ストックマネジメント実施方針」を策定し、取組み着手したところです。

本計画期間中も引き続きストックマネジメント実施方針に沿った調査を推進し、必要な修繕・改築事業を継続的に進めます。

方針(3)

収支の改善と基準外繰入金の縮減

人口減少に伴う使用料収入減や下水道施設の老朽化に加え、近年の物価上昇等により経営環境が厳しさを増すなか、持続可能な下水道の実現と利用者負担の最小化を目指し、不断の経営改善を続けることが求められます。

さまざまな経費削減手法や財源獲得方法を模索し、収支改善に向けた取組みを行い、一般会計からの基準外繰入金の縮減を図ります。